



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 沢井製薬株式会社

コード番号 4555 URL <http://www.sawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤井 光郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 末吉 一彦

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 06-6105-5711

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	58,958	17.4	11,606	13.5	11,438	12.4	8,498	21.4
27年3月期第2四半期	50,202	17.4	10,225	1.7	10,175	0.2	6,997	8.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 8,244百万円 (16.8%) 27年3月期第2四半期 7,057百万円 (5.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	230.76	230.57
27年3月期第2四半期	190.40	190.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	186,237	119,114	63.9
27年3月期	166,179	112,398	67.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 119,002百万円 27年3月期 112,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	50.00	—	55.00	105.00
28年3月期	—	55.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,000	17.6	22,000	6.3	21,700	5.2	15,500	10.3	420.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	38,166,588 株	27年3月期	38,137,588 株
28年3月期2Q	1,299,539 株	27年3月期	1,353,839 株
28年3月期2Q	36,830,074 株	27年3月期2Q	36,752,612 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
当社は、平成27年11月9日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、中国を中心とした新興国経済の減速影響を受けたものの、政府・日銀による景気対策を受けた企業収益の持続的拡大、消費税増税影響の一巡等を背景に、緩やかな景気回復基調が続きました。

ジェネリック医薬品業界におきましては、平成26年4月に実施された調剤薬局における「後発医薬品調剤体制加算の見直し」、DPC病院における「後発医薬品指数の新設」等の政府によるジェネリック医薬品の使用促進策の効果が今期も持続し、ジェネリック医薬品の需要拡大が続きました。

さらに、6月末に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015(以下、骨太の方針2015)」において、ジェネリック医薬品の数量シェア目標として、「平成29年央に70%以上とするとともに平成30年度から32年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上とする」ことが掲げられました。また、9月に厚生労働省から公表された「医薬品産業強化総合戦略」の中で、この目標の実現に向け、ジェネリック医薬品の使用加速化のための諸施策を講じることが明記されました。その結果、ジェネリック医薬品業界全体とし、まして、「後発医薬品80%時代」に向けて、大幅な生産能力の増強に早急に取り組むことが求められることとなりました。

このような状況において、当社グループは、「なによりも患者さんのために」の企業理念のもと、平成30年3月期を最終年度とする3ヵ年の新たな中期経営計画「M1 TRUST 2018」を策定し、5月に公表しました。この3年間を「2021年3月期に売上高2,000億円達成を目指す」という中長期ビジョンの達成に向け、当社が「飛躍的成長を実現」するための基盤を構築する期間として位置付けております。

生産・供給体制面においては、4月に、田辺三菱製薬株式会社から子会社の鹿島工場を譲り受け、稼働を開始しました。今後、追加の設備投資を行うことで年間30億錠の生産能力の増強を早期に実現していく予定です。また、5月には、包装能力増強のために新しく三田西工場(9月着工、平成29年1月出荷開始予定)を建設することを決定しました。今後ますます拡大するジェネリック医薬品需要に対して、当社は、着々と安定供給体制の強化に取り組んでいます。

製品開発・販売面においては、6月に、先発品に規格が無い抗血小板剤『クロピドグレル錠50mg「サワイ」』を含む5成分10品目の新製品を発売しました。また、8月には、本社研究所に近接する大阪府吹田市に新たな研究開発拠点である「開発センター」が竣工し、今後も患者さんや医療関係者にとって付加価値のあるサワイジェネリックの開発強化に取り組むこととなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は58,958百万円(前年同期比17.4%増)、営業利益が11,606百万円(前年同期比13.5%増)、経常利益が11,438百万円(前年同期比12.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が8,498百万円(前年同期比21.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は116,500百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,226百万円増加いたしました。これは主に、たな卸資産が7,294百万円、電子記録債権が3,039百万円、現金及び預金が1,120百万円増加したことによるものであります。固定資産は69,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,831百万円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物が3,168百万円、建設仮勘定が2,598百万円、土地が1,651百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は186,237百万円となり、前連結会計年度末に比べ20,058百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は45,237百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,028百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,502百万円、短期借入金が1,136百万円、未払法人税等が714百万円増加したことと、未払金が2,038百万円減少したことによるものであります。固定負債は21,885百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,313百万円増加いたしました。これは主に、10,000百万円の社債発行によるものであります。

この結果、負債合計は、67,123百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,342百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は119,114百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,715百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上8,498百万円、剰余金の配当2,023百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.9%（前連結会計年度末は67.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は23,724百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,120百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益11,923百万円、減価償却費3,308百万円、売上債権の増加3,279百万円、たな卸資産の増加4,524百万円、仕入債務の増加2,502百万円、法人税等の支払額3,099百万円を主因として6,628百万円の収入（前年同期比2,802百万円収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出8,623百万円、事業譲受による支出5,181百万円を主因として13,963百万円の支出（前年同期比8,306百万円の支出増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増1,600百万円、長期借入金の返済による支出1,428百万円、社債の発行による収入10,000百万円、配当金の支払額2,023百万円を主因として、8,456百万円の収入（前年同期比9,847百万円の収入増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成27年5月14日に公表した通り、売上高124,000百万円（前期比17.6%増）、営業利益22,000百万円（同6.3%増）、経常利益21,700百万円（同5.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益15,500百万円（同10.3%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を
資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたし
ました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による
取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更
いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四
半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事
業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から
将来にわたって適用しております。

この変更による、期首の利益剰余金、資本剰余金及び損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,603	23,724
受取手形及び売掛金	32,576	32,816
電子記録債権	1,542	4,582
商品及び製品	24,067	25,256
仕掛品	9,117	12,495
原材料及び貯蔵品	11,479	14,206
繰延税金資産	2,408	2,518
その他	492	916
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	104,274	116,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,478	26,647
機械装置及び運搬具(純額)	17,554	17,077
土地	7,631	9,282
リース資産(純額)	41	1,440
建設仮勘定	3,999	6,598
その他(純額)	1,995	2,038
有形固定資産合計	54,700	63,086
無形固定資産	2,116	1,855
投資その他の資産		
投資有価証券	4,687	4,381
長期前払費用	84	102
その他	341	334
貸倒引当金	△25	△22
投資その他の資産合計	5,088	4,795
固定資産合計	61,905	69,736
資産合計	166,179	186,237

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,054	19,556
短期借入金	2,546	3,683
リース債務	17	267
未払金	15,157	13,118
未払法人税等	3,222	3,937
賞与引当金	1,456	1,757
役員賞与引当金	58	44
返品調整引当金	68	62
売上割戻引当金	1,904	1,984
その他	722	824
流動負債合計	42,208	45,237
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	8,630	7,665
リース債務	27	1,157
繰延税金負債	363	335
退職給付に係る負債	45	38
長期預り金	1,969	2,152
その他	535	535
固定負債合計	11,571	21,885
負債合計	53,780	67,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,124	27,167
資本剰余金	27,596	27,799
利益剰余金	62,868	69,344
自己株式	△6,229	△6,006
株主資本合計	111,359	118,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	951	696
その他の包括利益累計額合計	951	696
新株予約権	87	112
純資産合計	112,398	119,114
負債純資産合計	166,179	186,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	50,202	58,958
売上原価	28,190	33,831
売上総利益	22,012	25,127
販売費及び一般管理費	11,786	13,520
営業利益	10,225	11,606
営業外収益		
受取配当金	47	48
受取補償金	24	21
その他	14	18
営業外収益合計	87	89
営業外費用		
支払利息	73	110
社債利息	—	18
社債発行費	—	53
売上債権売却損	29	30
その他	34	44
営業外費用合計	137	256
経常利益	10,175	11,438
特別利益		
負ののれん発生益	—	841
特別利益合計	—	841
特別損失		
減損損失	—	331
固定資産除却損	35	24
特別損失合計	35	356
税金等調整前四半期純利益	10,139	11,923
法人税、住民税及び事業税	3,334	3,729
法人税等調整額	△192	△304
法人税等合計	3,142	3,425
四半期純利益	6,997	8,498
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,997	8,498

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	6,997	8,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	△254
その他の包括利益合計	59	△254
四半期包括利益	7,057	8,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,057	8,244

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,139	11,923
減価償却費	2,750	3,308
減損損失	—	331
売上債権の増減額(△は増加)	△2,660	△3,279
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,657	△4,524
仕入債務の増減額(△は減少)	1,927	2,502
負ののれん発生益	—	△841
未払金の増減額(△は減少)	481	△57
その他	378	422
小計	8,358	9,785
利息及び配当金の受取額	48	48
利息の支払額	△73	△106
法人税等の支払額	△4,507	△3,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,826	6,628
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,653	△8,623
無形固定資産の取得による支出	△718	△161
投資有価証券の取得による支出	△299	—
事業譲受による支出	—	△5,181
その他	15	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,656	△13,963
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,600	1,600
長期借入金の返済による支出	△1,250	△1,428
社債の発行による収入	—	10,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	6	67
自己株式の売却による収入	98	395
配当金の支払額	△1,836	△2,023
その他	△8	△154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,391	8,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,222	1,120
現金及び現金同等物の期首残高	25,536	22,603
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,314	23,724

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。